

容器包装におけるプラスチック成形技術と脱プラへの取り組み
TOPPAN 株式会社 生活・産業事業本部 SX 推進センター SX パッケージ開発本部 西日本開発部 川崎実
政府プラスチック資源循環戦略では基本原則「3R+Renewable」がうたわれ、容器包装におけるプラスチック使用量削減は喫緊に解決すべき課題となっている。 この課題に対して、各社環境方針を掲げており、特に容器包装を使用するブランドオーナーや容器包装メーカーではさまざまな取り組みが進んでいる。今回、容器包装に用いられるプラスチック成形技術を説明するとともに、プラスチック製容器包装を中心とした、容器包装における3R+Renewableの取り組みを紹介する。
(230文字)